



社日小チャレンジ!!

社日小 学校だより
1月号
2020.1.30
文責 曽田 淳史

新しい年が始まってあっという間の1か月。そろそろラストスパート!!

みなさんお揃いでよい年を迎えたことだと思います。オリンピックイヤーである2020年が始まりました。今年もどうかよろしくお願ひいたします。

今年は子年。始業式には、ねずみにちなんで次のような話をしました。

○ねずみは少々硬いものでもかじる。

- みんなも、少々難しいことにも挑戦していこう。人間は困難なことに立ち向かうために知恵を絞ったり、あれこれ試行錯誤したりするときに成長する！
「パン食い競争」で、ちょっぴり背伸びをしてがんばるイメージで。



ちなみにねずみの前歯は、硬いものをかじることで整えられているとともに、長くなりすぎないように削っている。長くなると口が開かなくなってしまふなり死んでしまうらしい。

○ねずみ算というのもあるぐらい、ねずみは一度にたくさんの子を産むことで有名。

- みんなに増やしてほしいのは、新しくできるようになったこと。つまりいろんなチャレンジをして、できることをたくさん増やしてほしい。漢字や計算などはもちろん、縄跳びや早寝早起きなど、何でもいいので一つずつ成長していってほしい！

○まねてほしくないこと…。ねずみは夜行性だから夜に活動することが多い。

- みんなでいうと「夜ふかし」。これはまねしちゃいけませんよ！

子どもたちはしっかり聞いていました。短いからこそ一日、一時間を大切にして、そのときに持てる力を十分発揮してチャレンジしてほしい…。その気持ちをしっかり受け取ってくれたと信じています。

6年教室には、卒業までのカウントダウンコーナーがあり、本日「あと33日」とっていました。どの学年にとっても一年の締めくくりであり、同時に次の学年への準備でもある年度末。ラストスパートに向けて、ご家庭でも励ましの声かけをよろしくお願ひします。

6年生を送る会（2/28）に向けて…

毎年どの学校でも、6年生に対する感謝と在校生へのバトンタッチの意味を込めて、送る会が行われます。5年生は、新年早々さっそく実行委員会を立ち上げ、1～4年生をリードすべく、いろいろな係に分かれて取り組みを始めました。内容の詳細は、本番まで内緒なので載せずにおきますが、先般行われた代表委員会では、初めて全校を動かす緊張感が漂う中、実行委員、各係の代表たちが、堂々と原案を提案したり、質問に丁寧に答えたりする懸命な姿を見せました。

また、その意欲に応えるかのように、1～4年生の学級代表が実行委員に次々と質問し、細かな点について確認するなど、学級代表らしい意欲と責任感が感じられました。全体を通して、1～5年生が一つになって6年生のための会を成功させようという意気込みが伝わってきました。

特に5年生にとって、最高学年としての力をつける格好の活動です。途中、意見がうまくまとまらなかつたり、リーダーとしてのプレッシャーに押しつぶされそうになつたりしながらも、成し遂げた後の成就感や満足感が、次期リーダーとしての彼らを、より強くたくましくしていきます。そのためにも、タイミングよくほめたり助言したりしながら、励まし続けていくたいと思います。ご家庭でも応援をよろしくお願ひします！



緊張しながらもがんばりました

当日は、どなたでもおいでいただける「フリー参観」にする予定です。
6年生はもちろん、リーダーとしてがんばる5年生、それを支える1～4年生、それぞれの活躍にご期待ください！

4年生「2分の1成人式」（1/23）

4年生は、自分の名前の由来を調べ、そこに込められている家族の願いや深い愛情に気付きました。そして、この10年間育ててもらった感謝と、これからがんばりたいことなどを堂々と発表しました。ちょっぴり恥ずかしそうだけど、しっかりとした声と立派な態度で、自分の思いを家族に届けました。また友達も一人一人同じような愛情に包まれて生まれ、育ってきたことを知る機会になりました。そんな仲間が、お互いを大切にしながら成長していくよう、心から願っています。

＜児童の感想から＞一文字一文字にいろいろなことが込められているなと思いました。
自分の名前を大切にしたいと思いました。願ってつけてくれたから、そんなふうになりたいと思いました。名前は一生の大切なものだと思いました。みんなの由来を聞いて感動しました。みんな仲良くしていきたいと思いました。

＜保護者の感想から＞堂々と発表している姿はかっこよかったです。みんなそれが大切な大事な子。自分のことを大切にしていってほしいし、友達のことも大切にしていってほしいです。名前は子どもへの最初のプレゼントです。みなさん本当に素敵なプレゼントをされたなと思いました。10年間の成長を感じ感動しました。「生まれてきてありがとう」の気持ちでいっぱいです。



自分の思いを堂々と発表！

子どもたちを守り、よりよく育てるために…。ご家庭での協力をお願いします！

先般、一中校区の校長会で「緊急課題」として確認し合ったことがあります。それは『ゲーム』です。元来楽しさを追求するのですが、逆に子どもたちの心身に、想像以上の悪影響を与えている事例が全国的に広がり、とても深刻な問題になっています。



ゲームがもたらす悪影響として、次のようなことが挙げられてきました。

- ・生活の乱れ…家庭学習時間の減少、睡眠不足、昼夜逆転、不登校など
- ・外遊びの減少…体幹を含む筋肉や身体操作能力の低下、五感が育たないなど
- ・視力の低下
- ・集中力や忍耐力の減退
- ・人との関わり、感動や共感などの体験不足

さらに「ゲーム障害（WHOから国際的な精神疾患として認定されています）」の段階になると、ゲーム依存となってやめられなくなり、日常の活動よりゲームを優先するようになります。また理性より本能や感情が優位となり、他のことに興味を示さなくなったり言動が暴力的になったりするのです。

本当に子どもたちのこれからが心配になってきます。特に話題に出たのが、ゲームと同時に行われている「チャット」と呼ばれる会話です。とてもひどい言葉を交わしながらゲームをします。やがてゲームの中の世界と現実との境がわからなくなり、学校でも友達にひどい言葉を浴びせたり暴力的になりました。年齢制限が15才以上のものが多く、課金が絡むケースもあります。またゲーム以外にも、低学年の子がユーチューブなどのコンテンツを何時間も見ているという話を聞きました。

そのような生活を送っている子どもたちが、朝スッキリ起きて元気よく登校し、一番力を発揮すべき学習の場面で、意欲をもって集中して取り組むことは不可能に近いと考えられます。

学校では、実態を把握しながら、全体指導と個別指導をおりませ繰り返し指導していきます。ただ、ゲームをしているのは校外なので、残念ながらその指導が直接的に行き届かないのが現状です。

そこでお願いです。お子さんの様子（内容や時間等）を具体的に把握していただき、親子で話し合ってください。お子さんの将来のためにも、場合によっては厳しいルールを設けることが必要になるかもしれません。フィルタリング等の必要性も叫ばれています。子どもたちを守り、正しい方向に導くことは我々大人の責任です。今後も情報発信をしていく予定です。ご質問等があればお申し出ください。

繰り返しになりますが、子どもたちの将来のために、今からできることをともに考え、一つずつ実践していくたらと思いますので、どうかご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

一月の行事予定

| | | | | |
|--------|--------|--------------------------------|--------|--------------|
| 4 (火) | 全校朝礼 | 一中入学説明会 | 14 (金) | 一中生徒会学校訪問 |
| 5 (水) | 学校集金日 | | 18 (火) | スクールカウンセラー来校 |
| 10 (月) | 漢字計算大会 | | 20 (木) | 地区代表部会 |
| 12 (水) | 学年集金日 | クラブ（最終） | 23 (日) | 天皇誕生日 |
| 13 (木) | 授業公開日 | 学級懇談 | 24 (月) | 振替休日 |
| | | 守山交流説明会 | 28 (金) | 6年生を送る会 |
| | | ※卒業式は3月19日(木)、修了式は24日(火)の予定です。 | | |

